

令和7年度 開新高等学校評価表

1、教育方針
「来て良かった、やって良かった、勤めて良かった、あって良かった」開新高校

2、本年度の教育重点目標
○ 魅力ある学校づくり ○ 生徒募集・進路対策強化 ○ 健全な心身の育成 ○ 保護者との連携 ○ 地域連携と自意識向上の取組

評価項目		評価の観点
大項目	小項目	重点目標
学校経営	学力の充実・わかりやすい授業	・基礎学力充実の意識を高め、毎朝の自学自習や分かりやすい授業を通じて、学力の充実を図る ・生徒の個性・特性に応じた指導に努める ・生徒の様々な希望進路に対応できる技能・ポートフォリオの充実
	ICTを活用した教育の研究・実践	・タブレットを使用した授業方法の習熟・研究 ・ICT機器等を用いた授業方法や教材の研究・蓄積
	時代の流れに即した学校改革	・社会人としてとして必要な知識・責任・モラル等を1年時から段階的に着けさせる ・本校で学ぶ意義、生徒一人一人に将来の目標を考えさせることによって、安易な退学や進路変更を思いとどまらせ、退学者の減少に繋げていく ・時代の変化に対応した校則の研究 ・ICT機器等を用いた職員の事務作業の負担軽減
	進路指導の徹底	・多種多様な職業科を有する県内唯一の私立高校として、その特性を生かして生徒の希望する進路の実現に努める ・企業見学や外部講師による講演を積極的に行う等、キャリア教育の充実に努め、生徒が早い段階で自らの進路目標を見つける事ができるようにする
学力向上	指導力の向上	・教員が自らの資質向上を図り、わかりやすい授業づくりを行うための教材研究や自己研鑽に努める。 ・個々の生徒に応じた学習指導を心掛ける。 ・ICT教育の充実を図り、魅力的授業を展開し、知識・技能の向上に努める。
	基礎学力の定着	・朝学習や宿題などを活用し、基礎学力の定着を図るように日々指導する。 ・家庭学習の習慣を身につけるように促す。 ・必要に応じて個別の学習指導や添削を行う。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	・心を込めて挨拶のできる生徒を育成する。教師から先ず挨拶を行う ・校内外のルールを守り、服装・頭髮に気を配り、自分らしさを表現できる生徒の育成
	命を尊び、心身共に健康な人材の育成	・交通ルールの遵守、交通モラルの確立を図る ・他者を理解し思いやる心を育てるとともに、自分を高め充実した校内生活を送らせる ・生徒指導について、生徒の人権に配慮し、生徒の内面と向かい合いながら自分を見つめなおす機会を持たせる ・自己管理能力の育成（情報モラルの高揚、貴重品等の管理）
	自主的に行動できる意欲ある生徒の育成	・朝の清掃活動及び校内の美化に積極的に取り組み、施設・設備を大切に扱う心を育てる ・地域の清掃活動等を通して奉仕の心を育てる
進路指導	進路に関する意識の向上	・LHRや総合的な探究の時間の活用および進路講話や各種セミナー等、年度末の校内進路ガイダンスに繋がる計画的な取り組みを行う ・進学資料室の活用を促し、自学学習や添削指導を推奨する
	進路情報の提供	・学年団と進路指導部の連携を深め、生徒情報の共有およびClassroom『進路のお部屋』等の活用による進路情報の共有、生徒・保護者向けにはクロムブックを活用しリアルタイムの進路情報を提供する
	進路相談の充実と環境整備	・進路指導室と進学室の指導環境の整備を図り、生徒・保護者・教職員の相談に対応できる態勢を整える
特別活動	・学校行事の充実	・各行事において、綿密な計画及び準備を行うことで、生徒の良き思い出となるよう努める
	・クラブ活動の充実	・生徒の健全な心身の育成を目指す ・クラブ活動の推進を図る（クラブ加入率7割） ・クラブ活動と学業の両立を図る
	・生徒会活動の充実	・校内および校外活動(ボランティア等)を充実させる ・各委員会の活性化を図る
安全管理	・健康教育の推進	・心身のバランスをとり、健康で衛生的な生活習慣の推進を図る
	・教育環境の整備	・学校内外の環境美化の推進と安全な教育環境整備に努め、事故・けがを防止する
	・教育相談	・面接を通して、生徒の実態把握に取り組み、全職員の共通理解を進めると共に、担任や養護教諭と連携を図る。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、生徒や保護者の悩みや相談に適切に対応する